

◆NEW

「TechCrunch」 (jp.techcrunch.com) の記事によると、このほど、Wikipediaは「Bicholim Conflict」 (ポルトガルとインドのマラータ王国との戦争) の項をそれにふさわしい場所、すなわち「does not exist」 (存在しない) へと戻したという。

この戦争は、1640年から1641年にかけて約1年間続いたとされるが、歴史的には存在せず、つくり話の一種だったが、なんとWikipediaに5年間も掲載されてきた。

じつは、こういう例は、Wikipediaに数多くあり、百科事典としてのWikipediaの信用度は低い。とくに日本のWikipediaは、いい加減が記述が載っていても放置されている例が多い。

このことを皮肉って、「歴史は勝者が書くと言われたが、いまでは歴史は暇人 (ひまじん) が退屈しのぎに書く」と「TechCrunch」の記事も書いている。